

2024年4月期 決算説明資料

2024年6月10日



証券コード1436

1.	ハイライト	… P.03
2.	2024年4月期 決算概要 & 2025年4月期 業績予想	… P.10
3.	新たな成長戦略	… P.17
4.	会社概要	… P.21
	Appendix.	… P.24

1

ハイライト

社名変更・持株会社体制移行完了

- 「エネルギー×暮らし」で自然資本の新しい時代へ
- 社名を株式会社フィットから、株式会社GreenEnergy & Companyへ変更
- 持株会社体制への移行により、グループ経営体制の構築

新たな株主還元施策

- 株主優待対象時期・区分を変更し株主優待制度を拡充する施策を導入
- 配当性向は引き続き15%程度を維持

2024年4月期決算概要及び2025年4月期業績予想

- 売上高、売上総利益ともに過去最高を更新
- 当期純利益は5期連続の増益を達成

持株会社体制移行完了・社名変更



2050年まで続くGXという大きな潮流に乗り、業界の代表的なプレイヤーとなるために、迅速な対応力を持ち、筋肉質で強固な組織を構築

- 1 グループ経営戦略機能の強化、M&Aの推進に伴う非連続な成長を加速
- 2 グループ間事業シナジーの創出
- 3 各事業会社の自立的経営と経営者人材の育成
- 4 スピード感増す脱炭素化社会への対応力強化



フロー型ビジネスによる
規模の追求

ストック型ビジネスによる
収益性の追求

新たな株主優待制度（2024年10月末日より）

株主優待制度を拡充する施策を導入、ファン株主の創造への取り組み強化

● 株主優待制度の背景

株主優待の拡充による個人を中心とした株主様の増加、ひいてはファン株主の創造、そして当社事業への顧客創造にもつながるため

① 株主優待対象時期

4月末日及び10月末日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式を保有されている株主様を対象とする

② 株主優待区分

保有株式数	優待内容
300株以上	QUOカード 30,000円分

【内訳】

毎年10月末日	300株以上保有の株主様	QUOカード 15,000円分
毎年4月末日	300株以上保有の株主様	QUOカード 15,000円分

売上高、売上総利益は過去最高を更新、当期純利益は5期連続の増益を達成

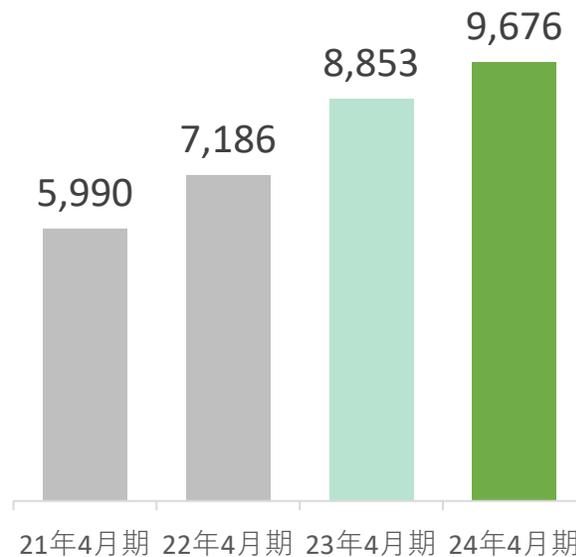
- グリーンエネルギー施設※ 販売数を増進
- 前年比+9.2%で過去最高を更新

- 成長投資（人財、ブランディング、商品開発）による費用先行により減益

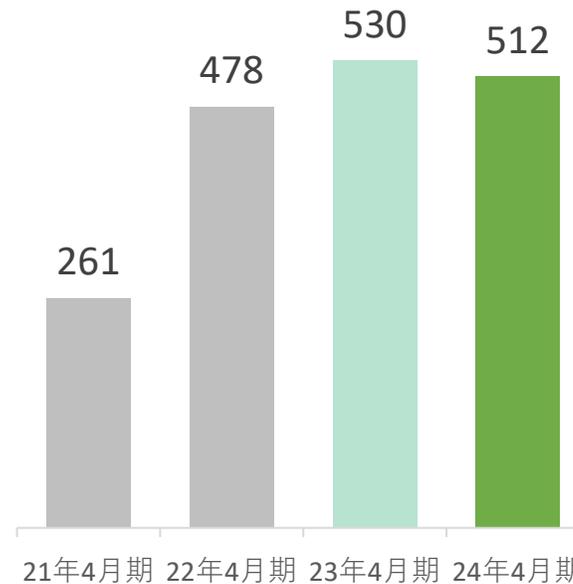
- 前期比+2.1%で4期連続の増益を実現

(百万円)

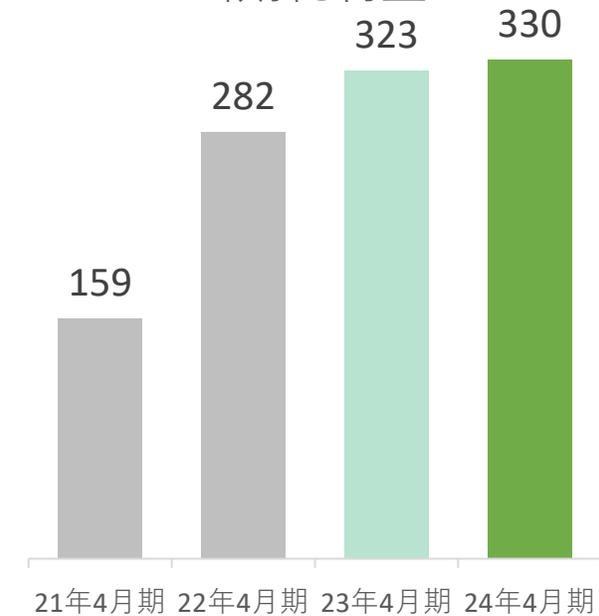
売上高



営業利益



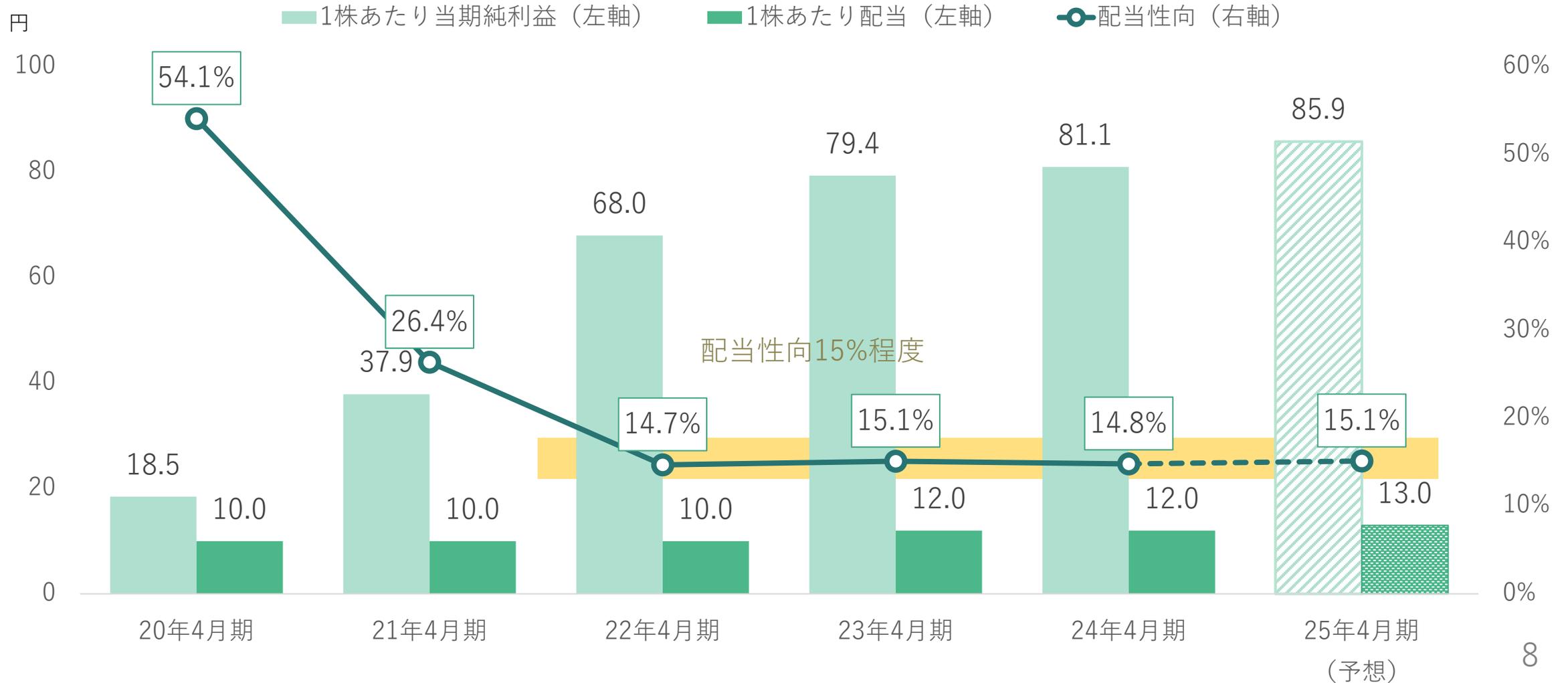
当期純利益



※太陽光発電所、系統用蓄電所、営農型太陽光発電所、ネットゼロ・エネルギー・ハウス等を示す

株主還元の様況

配当性向15%程度をめどに今後、長期的に安定した配当を志向



「グリーンエネルギー施設開発数最大化」及び「人的教育、認知向上、DXへの投資」を強力に推進

フロービジネス

- ・ NonFIT発電所開発・販売体制の拡大・強化
- ・ 系統用蓄電池事業への本格的参入と実績化
- ・ 営農型太陽光発電所/ソーラーシェアリング実績数拡大
- ・ ネットゼロ・エネルギー・ハウスの開発・販売体制強化と生産効率強化、新商品開発

ストックビジネス

- ・ バーチャルPPAなど発電事業への取り組み強化
- ・ O&M事業の対応品質と拡販体制強化、新サービス開発

2

2024年4月期
2025年4月期

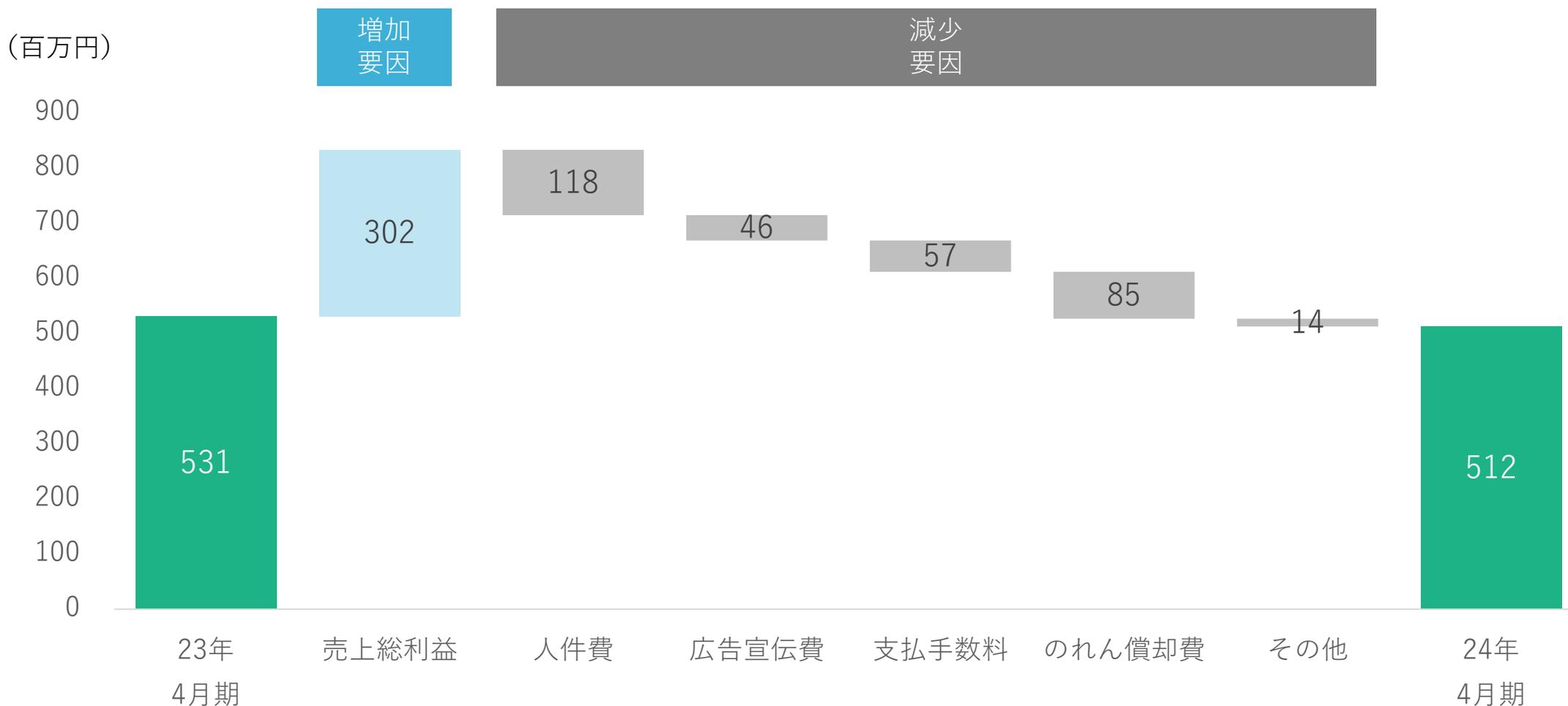
決算概要&
業績予想

売上高、売上総利益は過去最高を更新、当期純利益は5期連続の増益を達成

(単位：百万円)	23年4月期 実績（連結）	売上対 構成比	24年4月期 実績（連結）	売上対 構成比	対前年比	24年4月期 通期予想	対予想比
売上高	8,853		9,676		109.3%	10,000	96.8%
売上総利益	2,187	24.7%	2,489	25.7%	113.8%	—	—
販売費及び 一般管理費	1,656	18.7%	1,977	20.4%	119.3%	—	—
営業利益	530	6.0%	512	5.3%	96.5%	585	87.5%
経常利益	515	5.8%	502	5.2%	97.6%	570	88.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	323	3.7%	330	3.4%	102.1%	360	91.7%
減価償却費	107	—	174	—	—	—	—
EBITDA	637	—	687	—	—	—	—
EPS	79.4	—	81.1	—	—	—	—

2024年4月期 営業利益増減要因（前年同期比）

成長投資に伴う人件費及び一時的なのれん償却費の増加により営業利益は据え置き水準



ストックビジネスは一時的な減収になるも、フロービジネスがカバー

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	営業利益 (百万円)	前年比 (%)
フロービジネス	8,537	111.9%	724	100.5%
産業と社会の脱炭素	3,079	102.2%	367	117.1%
住まいの脱炭素	5,457	118.2%	357	87.8%
ストックビジネス	1,138	93.1%	272	82.3%
アセット管理	1,138	93.1%	272	82.3%

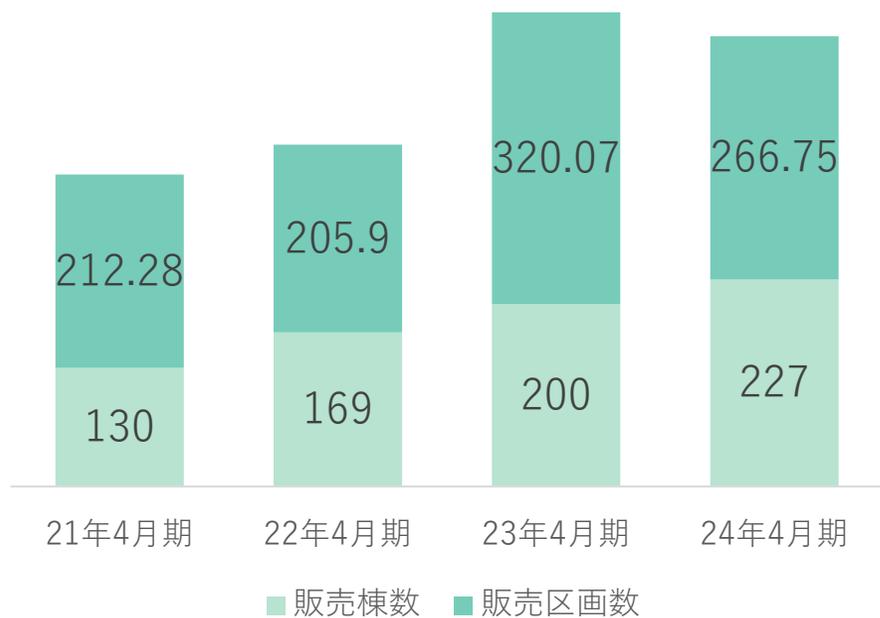
(参考) 2024年4月期 事業領域別の販売数・管理数の推移



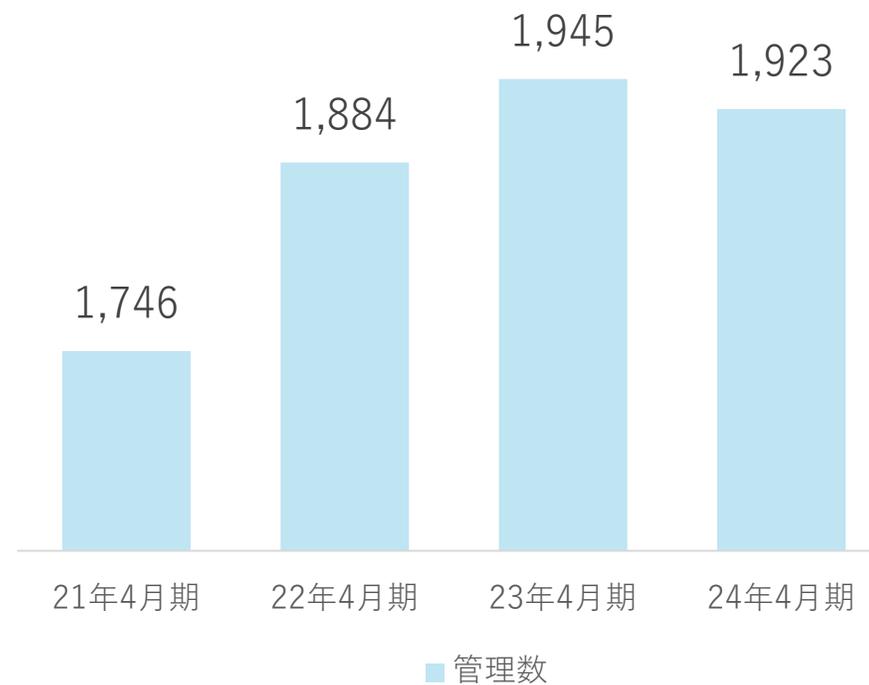
- FIT制度から NonFITへの移行による工期への影響で区画数減少

- 管理物件の収益適正化を実施、一時的な数量減少は生じるも来期以降の収益力は向上の見込み

フロービジネスの状況



ストックビジネスの状況



2024年4月期 連結貸借対照表



(単位：百万円)	23年4月期 期末	24年4月期 期末	対前年期末 増減額
流動資産	8,433	10,249	1,816
現金及び預金	2,003	1,569	▲ 433
棚卸資産	4,093	6,418	2,325
その他	2,336	2,260	▲ 75
固定資産	1,869	1,873	4
資産合計	10,302	12,122	1,820
負債	5,551	7,089	1,538
有利子負債	3,738	4,719	980
純資産	4,751	5,033	281
自己株式	▲ 174	▲ 174	0
負債・純資産合計	10,302	12,122	1,820

有利子負債の削減により減少となった。

子会社の会計上の取扱い変更に伴い
棚卸資産増加
有利子負債の増加

※3月15日当社子会社の資本・業務提携（株式会社高島屋）
に関するお知らせ参照

自己資本比率 41.5%

純資産は増加し、50億円超に

25年4月期は売上高は過去最高115億円、当期純利益は5期連続の増益を予想

(単位：百万円)	24年4月期 実績	25年4月期 予想	対前年比 通期
売上高	9,676	11,500	118.9%
営業利益	512	600	117.1%
経常利益	502	560	111.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	330	360	108.9%

3

新たな成長戦略

新たな成長戦略（フルバージョン）を2024年7月末に公表予定

■ 基本戦略

- 2050年まで続くGXという大きな潮流に乗り、業界の代表的なプレイヤーとなるための準備期間

■ 成長戦略

- ① グリーンエネルギー施設開発数の最大化
 - ✓ 開発施設の規格化、多様化
- ② 売上、収益におけるストック構成比向上による事業安定性の充実
 - ✓ 発電事業への参画、展開
 - ✓ O&M管理区画数の最大化

■ 重点戦略

個人参加型、
持続可能エネルギー社会の実現

- 売上高
- EBITDA
- 当期純利益



- ROE



- 総還元性向

- レバレッジ

新たな成長戦略① グリーンエネルギー施設開発数の最大化

グリーンエネルギー施設の開発の規格化、多様化による開発設備数の最大化を図る

Solar Power Plant

プライベート発電所（法人／個人）

再生可能エネルギー発電所



営農型太陽光発電所



系統用蓄電所



Net Zero Energy House

ネットゼロ・エネルギー・ハウス

スタンダードモデル



アップグレードモデル



「稼いでくれる」家



「稼働できる」家



「シェアする」家



Smart Agriculture

スマート農業

室内栽培システム（FIT BOX）



太陽光併設養鶏施設



新たな成長戦略② ストック構成比向上による事業安定性の充実

発電事業への参画、O&Mの充実によりストック比率の向上、事業安定性の充実を図る

成長準備期

成長期

成長加速期

■ ストック ■ フロー

売上高の推移

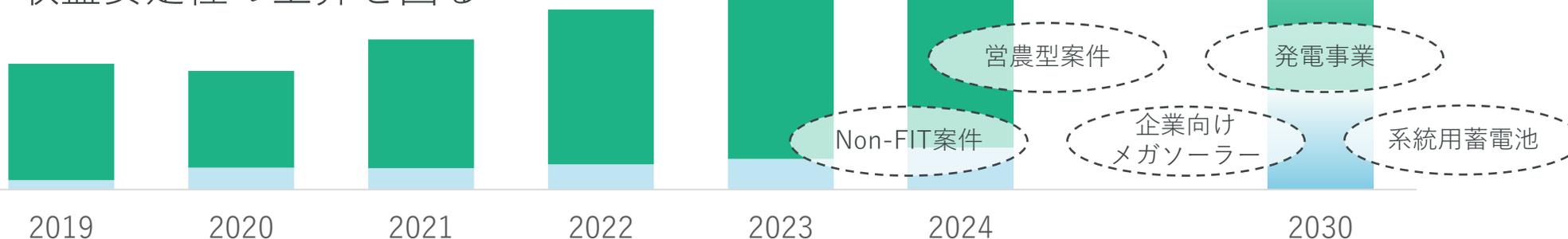
グリーンテック企業の リーディングカンパニーへ

売上高
ストック比率
20%を目指す

更なる比率向上を目指す

エネルギー基本計画に基づいた事業拡大

売上高、利益ともに、
ストック比率の向上により
収益安定性の上昇を図る



4

会社概要

商号	株式会社GreenEnergy & Company (旧株式会社フィット)
上場	東京証券取引所グロース市場 1436 2016年上場
代表者	代表取締役社長 鈴江 崇文
本社所在地	東京本社：東京都港区東新橋1-1-19 ヤクルト本社ビル8F 徳島本社：徳島県板野郡松茂町 中喜来字群恵39番地1
創立	2009年
グループ会社数 ※本日時点	連結子会社：5社 (うち合同会社をのぞく)
連結従業員数 ※2024年4月末日時点	152名
連結売上高 ※2024年4月末日現在	96億円
時価総額 ※2024年5月末日現在	83億円
株価 ※2024年5月末日現在	1,954円

仲間たちの輪が、全国に広がっています

グリーンエネルギー&カンパニーはグループ企業です。
ホールディングカンパニーである
株式会社グリーンエネルギー&カンパニーのもと、
全国でサービスを展開しています。



プライベート発電施設
開発区画数

1,869区画
※2024年1月時点



プライベート発電施設
管理区画数

902区画
※2024年2月時点



ネットゼロ・
エネルギー・ハウス
開発棟数

2,530区画
※2024年4月時点

➤ PURPOSE

サステナブルな社会の実現を新しい常識で
「エネルギーの供給」と「暮らし」の新しい常識をつくる

➤ VISION

個人参加型、持続可能エネルギー社会の実現

日本の全電力供給のうち、化石燃料による電力供給を再生可能エネルギーに
置き換えるという目標のもと、個人が積極的に参加できる商品開発及び提供をおこなう

Appendix.

2024年3月15日

当社の子会社である株式会社 Fanta（本社：東京都港区、代表取締役社長：木山憲一、<https://fanta-gr.com/>、以下、「Fanta」といいます。）は、2024年3月15日、株式会社高島屋（本社：大阪府大阪市中央区、代表取締役社長：村田善郎、東証プライム市場（証券コード：8233）、以下、「高島屋」といいます。）との間で資本・業務提携を行いました。

資本・業務提携の内容

本資本・業務提携により、高島屋はFanta社に対し一部資本出資を行います。両社それぞれが有するリソースの連携やノウハウ及びネットワークの相互活用によって、総運用資産の拡大を目指し、ヘルスケア施設への投資をおこなってまいります。

また、将来的には両社協働によるヘルスケア施設特化型の投資法人創設に取り組んでいきたいと考えております。

本参考資料の内容には、将来に対する見通しが含まれている場合がありますが、実際の業績は様々な要素により、これら見通しと大きく異なる結果となりうることをご了承ください。

会社の業績に影響を与えうる事項の詳細な記載は「有価証券報告書」の「事業等のリスク」にありますのでご参照ください。ただし、業績に影響を与えうる要素は「事業等のリスク」に記載されている事項に限定されるものではないことをご留意ください。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

I Rに関する問い合わせ先：ir@green-energy.co.jp